

池澤利明氏略歴（田村明研究会）

- 昭和 2 年 栃木県佐野市生まれ
- 昭和 18 年 陸軍士官学校入学
- 昭和 26 年 3 月 早稲田大学（理工学部土木工学科）卒業
- 昭和 26 年 4 月 横浜市役所入庁（土木局道路課橋梁係）
- 昭和 33 年 4 月 建設局中土木事務所工事係長、4 月立神孝入庁、橋梁係配属
- 昭和 35 年 建設局道路課橋梁係長
（昭和 38 年 飛鳥田一雄横浜市長初当選）
（昭和 39 年 6 大事業計画が発表される）
- 昭和 40 年 土木局副主幹に昇任、高速道路網建設準備室長に任命される
（昭和 43 年 2 月 横羽線都市計画決定（高架案）
- 昭和 43 年 4 月 道路局高速道路課長就任、同年 4 月田村明横浜市入庁、
（昭和 44 年 5 月 横羽線都市計画変更（半地下化）
（昭和 45 年 11 月 高速中央線（狩場線）都市計画決定）
- 昭和 46 年 6 月 道路局建設部長
（昭和 47 年 8 月 村雨橋事件）
- 昭和 49 年 4 月 道路局街路建設部長（新設）就任；都市計画道路整備に舵切る
- 昭和 51 年 4 月 道路局長（49 歳）、翌年 4 月立神孝高速道路課長就任、
（昭和 52 年 8 月高速湾岸線（ベイブリッジ）都市計画決定、国に着工要望
（昭和 52 年 道路局に用地課設置、55 年道路局用地部に拡充。
（昭和 53 年 3 月 横羽線 2 期（横浜公園ランプまで）開通
（昭和 53 年 4 月 飛鳥田市長退任、細郷道一市長初当選）
- 昭和 55 年 7 月 総務局長就任、立神孝街路建設部長
（昭和 55 年 11 月 ベイブリッジ着工）
（昭和 56 年 4 月 田村明 横浜市退職）
- 昭和 58 年 6 月 横浜市助役、横浜港埠頭公社理事長
（昭和 61 年 4 月尾仲章道路局長；昭和 63 年 5 月横浜環状道路担当課長設置）
- 昭和 62 年 5 月 横浜市助役退任、立神孝旭区長転出
（平成元年 9 月 ベイブリッジ及びスカイウオーク開通）
- 平成 2 年 1 月 立神孝道路局長就任
（平成 2 年 2 月 細郷道一市長死去、4 月高秀秀信市長初当選）
- 平成 6 年 4 月 立神孝横浜市退職
（平成 10 年 都市計画道路環状 2 号線全線開通）
（平成 16 年 4 月国道 357 号線（ベイブリッジ下層）開通
- 平成 24 年 5 月 逝去（85 歳）